

「平成17年度 コニカミノルタ画像科学奨励賞」受賞者が決定

2006年1月13日

コニカミノルタ画像科学振興財団（理事長 米山高範：コニカミノルタホールディングス株式会社 名誉顧問）は、画像科学の研究に従事する若手研究者を対象に公募しました「コニカミノルタ画像科学奨励賞」*（助成金総額400万円）の受賞者を下記のとおり決定いたしました。

（*「コニカミノルタ画像科学奨励賞」の詳細については別紙をご参照ください。）

授賞式は2006年1月下旬に東京・千代田区のコニカミノルタホールディングス株式会社本社で行います。

■受賞者及びテーマ（五十音順）

池谷 裕二（いけがや ゆうじ）氏（東京大学大学院 薬学系研究科 助手）
「単一細胞解像度をもった神経活動の大規模イメージング」

白石 幸英（しらいし ゆきひで）氏（山口東京理科大学 基礎工学部物質・環境工学科 講師）
「液晶分子保護金属ナノ粒子添加による超高速応答液晶デバイスの開発」

橋本 守（はしもと まもる）氏（大阪大学大学院 基礎工学研究科 助教授）
「分子のベクトル場的分布画像を観測する光学顕微鏡システム」

山本 卓明（やまもと たくあき）氏（九州大学大学院 医学研究院整形外科学 助手）
「ステロイド誘発骨壊死症の超早期診断と臨床経過の予知を目的とした
新しい3次元MRI画像診断法の確立」

お問い合わせ先

(財)コニカミノルタ画像科学振興財団事務局 齊 田 TEL:03-6250-2050
(コニカミノルタホールディングス株式会社秘書室内)
コニカミノルタホールディングス株式会社 広報グループ 小木曾 TEL:03-6250-2100

平成17年度 コニカミノルタ画像科学奨励賞応募要領

(財)コニカミノルタ画像科学振興財団

コニカミノルタ画像科学振興財団では、「新しい画像技術の探求」を基本テーマに、コニカミノルタ画像科学奨励賞の一般公募を行います。

基本テーマの趣旨：

近年、可視化された画像が社会環境、生活環境に大きく関わりを持つことが認識され、単に画像工学的見地からだけでなく、社会科学的見地からも総合的に把握する学問であると考えられています。人間の視覚機能と識別評価機能を通じて、芸術、経済、社会などの広い分野を含めた総合的学術活動として国際的に認知され、"Imaging Science"として広く定着するようになりました。

【対象】

(1)対象となる研究分野

以下の2分野に分けてテーマを募集します。

- ①画像に関する材料及びデバイスの研究
- ②画像に関するシステム及びソフトウェアの研究

画像科学の基礎から、工学、医学などの各方面の応用を含めた幅広い、そして斬新な発想による研究計画の応募をお待ちしています。

(2)応募資格

日本の大学、国公立及び民間公益研究機関の画像科学に関する研究者で、個人またはグループを応募資格とします。但し、年齢は40才以下（応募締切の9月30日現在、グループは代表者）とします。

【概要】

(1)奨励賞及び副賞

コニカミノルタ画像科学奨励賞は4件とし、その副賞は1件100万円とします。

(2)研究報告

奨励賞を受けられる方は、1年後「研究経過報告書」を提出して頂きます。

【選考委員会及び選考基準等】

(1)選考委員会

本多 健一 東京工芸大学名誉学長を委員長とする「奨励賞選考委員会」で厳正に選考します。

(2)選考基準等

- ①発想の独創性：テーマや内容に独創的な発想があり、研究の発展が見込まれること。
- ②計画の実現性：助成により、計画の所期の目的達成が促進されると認められること。

【応募手続】

(1)申請書当財団ホームページ

<http://konicaminolta.jp/about/contribution/corporation/research/foundation/prize.html>

より、申請書のフォーマットをダウンロードしてご利用ください。

- (2)応募 郵送またはe-mailの添付ファイルで、平成17年9月30日（当日消印有効）までにお送りください。
- (3)結果通知 平成17年12月以降
- (4)注意事項 申請書・添付資料等のご請求がない限り返却しませんのでご了承下さい。

【財団事務局】

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1 コニカミノルタホールディングス（株）内
コニカミノルタ画像科学振興財団事務局

Tel(03)6250-2050 Fax(03)3218-1361